

I. 学会運営に関する報告

1. 主な会合

本期間中に通常総会を始めとし、次の会合が開かれた。

(1) 総会

通常総会

日 時 2018 年 5 月 24 日 (木) 午後 13 時～13 時 45 分

場 所 東京ガーデンパレス

出席者 代表会員 47 名 (出席者 26 名, 委任状提出者 7 名 書面投票 14 名)

議 案 1. 平成 29 年度決算承認の件

報告事項 1. 平成 29 年度事業報告の件

2. 監査報告の件

特別講演会 「地球はなぜ生命の惑星なのか

-ハビタブル・プラネット地球の炭素循環と環境の進化-

東京大学 田近英一

(2) 理事会

11 回

(3) 総務・会計担当理事会

10 回

(4) 学術・編集担当理事会

10 回

(5) 事業担当理事会

10 回

(6) 委員会等

1) 学術講演会運営委員会

3 回

2) 2018 年度日本冷凍空調学会年次大会実行委員会

3 回

3) 2019 年度日本冷凍空調学会年次大会準備委員会

2 回

4) 空気調和・冷凍連合講演会運営委員会

2 回

5) 事業委員会

1 回

6) 北海道地区事業推進委員会

3 回

7) 東北地区事業推進委員会

3 回

8) 関東地区事業推進委員会

10 回

9) 中部地区事業推進委員会

4 回

10) 近畿地区事業推進委員会

12 回

11) 西日本地区事業推進委員会

6 回

12) 食品冷凍事業委員会

4 回

13) 出版事業委員会

6 回

14) 出版事業委員会・初級冷凍受験テキスト改訂分科会

4 回

15) 冷凍技士運営委員会

7 回

16) 若手技術者研修会企画委員会

1 回

17) 通信教育委員会

10 回

18) 広報委員会

1 回

19) 国際委員会・ACRA2018 実行委員会

2 回

20) 国際委員会・GL2020 実行委員会

1 回

21) 規格制定委員会・ISO/TC86 国内分科会

1 回

22) 規格制定委員会・JIS B 8623 改定分科会

5 回

23) 規格制定委員会・JIS B 8607 改定分科会

7 回

24) 保安委員会

4 回

25) 新冷媒評価委員会

3 回

26) 温暖化問題等対策検討委員会

8 回 (メール会議)

27) 次世代冷媒に関する調査委員会

2 回

28) 冷凍空調技術委員会

1 回

29) 冷媒技術委員会

1 回

30) 圧縮機技術委員会

1 回

31) 熱交換器技術委員会	4回
32) 熱交換器技術委員会・伝熱技術WG	1回
33) 次世代冷凍システム技術委員会	6回
34) デシカント・吸着・吸収・化学系技術委員会	4回
35) 着霜・除霜系技術委員会	2回
36) 熱交換器技術委員会・環境変化に対応するための 先進熱交換技術に関する調査研究プロジェクト	4回
37) 自然冷媒冷凍空調システム技術委員会・ 自然冷媒システム調査研究プロジェクト	4回
38) 学会誌編集委員会	7回
39) 冷凍空調技士考査委員会および試験分科会	4回
40) 食品冷凍技士考査委員会および試験分科会	1回
41) 論文集編集委員会	13回(メール会議11回を含む)
42) 論文集編集委員会・論文集運営推進検討分科会	2回
43) 学会賞選考委員会	3回
44) 学会賞選考委員会・学術賞分科会	4回(メール会議2回を含む)
45) 学会賞選考委員会・技術賞分科会	2回
46) 学会賞選考委員会・優秀講演賞分科会	1回
47) 著作権委員会	4回(メール会議)
48) 戦略会議	1回
49) 政策委員会	3回
50) 政策委員会・教育制度再構築分科会	1回
51) 政策委員会・教育制度再構築分科会 制度運用及び広報合同WG(CPD)	4回
52) 政策委員会・教育制度再構築分科会 カリキュラム検討WG	11回
53) 代表会員選挙管理委員会	3回(メール会議1回を含む)
(7) 講演会(学術講演会, 技術交流会等)	4回
(8) 定例講習会, セミナー, シンポジウム, 見学会	38回
(9) 通信教育講座(6月コース, 10月コース)	2回
(10) 資格試験, 検定試験	4回

2. 役員会に関する事項

2018年度中に理事会11回, その他担当業務毎に担当理事会を開催した。
理事会の主な議題は次の通りである。

- (1) 理事会・総会スケジュールおよび担当の件
- (2) 代表会員選挙管理委員会委員選任の件
- (3) 高圧ガス保安協会表彰の件
- (4) 仏 French Association of Refrigeration, AFF との覚書調印および
Gustav Lorentzen Conference 2020 (GL2020) 契約書について
- (5) 国際冷凍学会 IIR との学会間相互会員の件
- (6) 新冷媒評価委員会の評価結果の件
- (7) 学会書籍出版計画の件
- (8) NEDO 調査委員会および JIS B8607 改定分科会設置の件
- (9) 事業所別会員数の件
- (10) 独 DKV (German Society of Refrigeration and Air Conditioning), 米国 ASHRAE との覚書調印
の件
- (11) 国際会議出席報告の件
- (12) 監査報告の件
- (13) 第一四半期収支報告の件
- (14) 事務局職員昇給及び夏期一時金の件
- (15) 平成30年度職務執行状況報告書の件

- (16) 平成 30 年度決算および平成 31 年度活動計画・予算の件
- (17) 平成 30 年度学会賞
- (18) 平成 31・32 年度代表会員選挙および会長候補者選挙の件
- (19) 定款細則第 13 条（代表会員選挙）改定の件
- (20) ACRA2018 および 2018 年度年次大会収支決算書
- (21) 特定費用準備資金平成 30 年度変更案
- (22) 「謝金支払い規程」改定の件
- (23) 「次世代冷媒に関する調査委員会運営規則」設置の件
- (24) 規格制定分科会（デシカント学会規格作成）設置の件
- (25) 他団体委員派遣の件
- (26) 共催・協賛依頼承認の件
- (27) 月次決算報告の件
- (28) 毎月の入会者承認の件
- (29) 事業開催報告の件
- (30) 委員会開催報告の件

3. 届出, 監査に関する事項

(1) 行政庁届出, 登記事項

事 項	行政庁 届 出 日	宛 先
事業報告等の提出	2018 年 6 月 26 日	内閣総理大臣
変更の届出	2018 年 12 月 4 日	内閣総理大臣
事業計画書等に係る提出	2019 年 3 月 29 日	内閣総理大臣

(2) 事業報告, 収支決算監査

日 時 2018 年 4 月 17 日（火）午前 10 時～12 時

場 所 学会会議室

出席者 川端克宏 監事 河野恭二 監事 齋川路之 監事
 香川澄 会長 野中正之 副会長
 印南幸夫 理事 眞島俊昭 理事 山下浩司 理事

内 容 平成 29 年度事業報告, 決算報告の監査

4. 会員動向

種 別	2019 年 3 月 31 日現在	2018 年 3 月 31 日現在
名誉・特別会員	14 名	18 名
賛助会員（団体）	10 社	9 社
第一種正会員（法人）A級	11 社	9 社
B級	11 社	13 社
C級	21 社	21 社
D級	187 社 [※]	192 社 [※]
※海外法人含む	231 社	235 社
第二種正会員（個人）	3,747 名	3,825 名
学生会員	69 名	58 名

5. 代表会員選挙結果

現在の代表会員の任期が 2019 年 5 月の通常総会までとなっていることに伴い, 次期の代表会員を選ぶ代表会員選挙を実施した. 立候補の受付を 2018 年 9 月 10 日から 10 月 18 日まで行ったところ, 下記の立候補の届け出があった. なお, 関東地区以外の各地区の立候補者数はいずれ

も定員を超えていないため、代表会員選挙・運営内規の第6条4項の規定に従い、下記の立候補者が無投票で2019・2020年度の代表会員に当選とした。また、定員を超えた関東地区に関しては、2019年1月12日から2月15日まで電子投票による選挙を実施し、選挙の結果下記の通り21名が当選した。

任期：2019年5月22日の通常総会～2021年5月の通常総会まで
代表会員当選者は50音順に記載した。

北海道地区（定員2名）

石川 光浩 北海道電力(株) 濱田 靖弘 北海道大学

東北地区（定員2名）

大越 秀敏 東北電力(株) 佐々木 直栄 日本大学

関東地区（定員21名）

井川 修司	三菱電機ビルテクノサービス(株)	井上 順広	東京海洋大学
入江 智芳	荏原冷熱システム(株)	印南 幸夫	日立アプライアンス(株)
上田 憲治	三菱重工サーマルシステムズ(株)	遠藤 浩司	三菱重工冷熱(株)
大河 誠司	東京工業大学	勝田 正文	早稲田大学
川村 邦明	(株)前川製作所	久保田 淳	(株)日立製作所
熊野 寛之	青山学院大学	中村 元	防衛大学校
中村 啓夫	早稲田大学	野中 正之	日立ジョンソコントロールズ空調(株)
長谷川 浩巳	(一財)電力中央研究所	平山 卓也	東芝キャリア(株)
松井 大	パナソニック(株)	松瀬 達也	ダイキン工業(株)
松本 浩二	中央大学	三品 孝	(株)ダイキンアプライドシステムズ
四十宮 正人	三菱電機(株)		

中部地区（定員8名）

石橋 晃	三菱電機(株)	児玉 昭雄	金沢大学
小林 隆之	三菱重工サーマルシステムズ(株)	小林 敬幸	名古屋大学
平野 浩二	東芝キャリア(株)	福田 充宏	静岡大学
吉田 康孝	日立ジョンソコントロールズ空調(株)	渡邊 激雄	中部電力(株)

近畿地区（定員10名）

浅野 等	神戸大学	池田 隆	三菱電機(株)
井出 哲也	日立アプライアンス(株)	小野 良二	長谷川鉄工(株)
田口 雄一郎	関西電力(株)	平良 繁治	ダイキン工業(株)
西村 伸也	大阪市立大学	松野 博	(株)前川製作所
安田 透	パナソニック(株)	涌井 徹也	大阪府立大学

西日本地区（定員7名）

今田 大輔	昭和鉄工(株)	瀬口 正	西部ガス(株)
田中 史彦	九州大学	東 之弘	九州大学
藤本 肇	三菱電機(株)	宮崎 隆彦	九州大学
宮良 明男	佐賀大学		

6. 代表会員、理事、監事に関する事項

(1) 代表会員

定款第11条に従い、選挙により選出された代表会員は下記のとおりである。
(2019年3月31日現在)

任期：2017年5月15日の通常総会～2019年5月の通常総会まで

北海道地区 (2名)

垂石 雅行 三菱電機ビルテクノサービス(株) 長野 克則 北海道大学

東北地区 (2名)

大越 秀敏 東北電力(株) 佐々木直栄 日本大学

関東地区 (21名)

井川 修司 三菱電機ビルテクノサービス(株) 入江 智芳 荏原冷熱システム(株)
印南 幸夫 日立アプライアンス(株) 上田 憲治 三菱重工サーマルシステムズ(株)
内山 淳 (株)ニチレイ 遠藤浩司 三菱重工冷熱(株)
香川 澄 防衛大学校 久保田 淳 (株)日立製作所
齋藤 潔 早稲田大学 鹿園 直毅 東京大学
大宮司啓文 東京大学 東條 健司 早稲田大学
根来 賢一 三菱電機冷熱プラント(株) 野中 正之 日立ジョンソンコントロールズ空調(株)
長谷川浩巳 (一財)電力中央研究所 平山 卓也 東芝キャリア(株)
眞島 俊昭 東京電力フュエル&パワー(株) 町田 明登 (株)前川製作所
三品 孝 (株)グイアプラントシステムズ 山下 浩司 三菱電機(株)
渡辺 学 東京海洋大学

中部地区 (7名)

伊藤 喜啓 三菱重工サーマルシステムズ(株) 小林 敬幸 名古屋大学
佐々木 俊治 日立ジョンソンコントロールズ空調(株) 鈴木 秀明 東芝キャリア(株)
多田 幸生 金沢大学 吹場 活佳 静岡大学
渡邊 激雄 中部電力

近畿地区 (10名)

浅野 等 神戸大学 井手 哲也 日立アプライアンス(株)
神戸 雅範 (株)前川製作所 七種 哲二 三菱電機(株)
長谷川陽一 長谷川鉄工(株) 松場 英樹 ダイキン工業(株)
松本 亮介 関西大学 三浦 光城 関西電力(株)
森本 敬 パナソニック(株) 涌井 徹也 大阪府立大学

西日本地区 (7名)

白石 聡一 三菱電機(株) 田中 史彦 九州大学
東 之弘 九州大学 平山 一敏 (株)九電工
福田 俊仁 昭和鉄工(株) 堀部 明彦 岡山大学
本田 知宏 福岡大学

(2) 理事

定款第21条により、理事は総会の決議によって選任された。

任期：2017年5月15日の通常総会～2019年5月の通常総会まで

選任された理事は、I. 7. 役員に関する事項に記載のとおりである。

(3) 監事

定款第21条3項により、監事は総会において選任された。

任期：2017年5月15日の通常総会～2019年5月の通常総会まで

選任された監事は、I. 7. 役員に関する事項に記載のとおりである。

7. 役員に関する事項

理事、監事、業務執行理事は下記のとおりである。(2019年3月31日現在)

任期：2017年5月15日の通常総会～2019年5月の通常総会まで

(1) 理事

浅野 等 印南 幸夫 入江 智芳 上田 憲治 香川 澄

- 神戸 雅範 齋藤 潔 佐々木直栄 鹿園 直毅 大宮司啓文
 東條 健司 野中 正之 長谷川浩巳 東 之弘 眞島 俊昭
 町田 明登 三品 孝 山下 浩司 渡辺 学
 (2) 監事 川端 克宏 河野 恭二 齋川 路之
 (3) 業務執行理事
 会 長 香川 澄
 副会長 (総務・会計担当) 野中 正之
 " (学術・編集担当) 渡辺 学
 " (事業担当) 神戸 雅範
 理 事 (総務・会計担当) 印南 幸夫 上田 憲治 眞島 俊昭 山下 浩司
 " (学術・編集担当) 浅野 等 齋藤 潔 佐々木直栄 大宮司啓文
 " (事業担当) 東條 健司 東 之弘
 入江 智芳 鹿園 直毅 長谷川浩巳 町田 明登
 三品 孝

8. 事務局員に関する事項

2019年3月31日における事務局員は下記のとおりである。

- 事務局長 松田 謙治
 事務局員 宇田 康雄 古川 博雅 佐藤 翔 他3名

II. 事業に関する報告

公益社団法人である学会は冷凍空調及び食品冷凍に関する学術団体として、定款第4条に定められた下記事業を行った。

- (1) 技術普及及び技術者育成などの教育事業
- (2) 国際冷凍学会などとの連携・協力による国際交流事業
- (3) 調査・資料収集及び技術開発・研究開発などの調査研究事業
- (4) 資格認定及び表彰による学術評価事業
- (5) その他定款第3条の目的を達成するために必要な事業

1. 技術普及及び技術者育成などの教育事業

本事業を実施するために、次の委員会活動等を行った。

(1) 学術講演会運営委員会

学会の年次大会および空気調和・冷凍連合講演会等について以下の審議をした。

- 1) 2018年度年次大会の進捗状況を確認, 2) 2019年度年次大会の進捗状況を確認, 3) 空気調和・冷凍連合講演会の準備状況を確認

(2) 2018年度日本冷凍空調学会年次大会実行委員会

- 1) 2018年度の年次大会を企画・運営した。

開催日：9月4～7日（見学会を含む）、会場：日本大学工学部（郡山）

名 称	発表論文数	開催日	開催地・会場	参加者数
2018年度日本冷凍空調学会年次大会	209編	9.4-7	日本大学工学部（郡山）	555

(昨年度発表論文数：213編)

(昨年度参加者数 634)

2) 特別講演

- ・「最近の酒類の動向とその製造における温度管理」

講師 山口 哲蔵

(笹の川酒造(株) 代表取締役社長)

(3) 2019年度日本冷凍空調学会年次大会準備委員会

2019年度の年次大会を企画した。

開催予定日：9月11～13日、会場：東京海洋大学越中島キャンパス

(4) 空気調和・冷凍連合講演会運営委員会

(公社)日本冷凍空調学会(幹事学会), (一社)日本機械学会, (公社)空気調和・衛生工学会 共催

名称	発表講演数	開催日	開催地・会場	参加者数
第52回空気調和・冷凍連合講演会	57編	4.18-20	東京 東京海洋大学	153

(昨年度発表論文数: 54編)

(昨年度参加者数: 142)

特別講演: 「韓国の伝統空調と新再生熱エネルギー」

洪 熙基 (大韓設備工学会, 慶熙大)

(5) 事業委員会

年次大会の会場で各地区事業推進委員会委員長と事業担当理事会とで合同会議を開催し学会全体の事業内容や課題について討議した。

(6) 事業委員会・各地区(北海道, 東北, 関東, 中部, 近畿, 西日本)事業推進委員会

各地区の委員会にて、事業活動計画を立案し、講習会、セミナー、見学会等を開催した。

1) 北海道地区事業推進委員会

セミナー・シンポジウム(1回), 見学会(1回)を開催した。

2) 東北地区事業推進委員会

セミナー・シンポジウム(1回), 見学会(1回)を開催した。

3) 関東地区事業推進委員会

定例講習会(2回), セミナー・シンポジウム(3回), 見学会(2回)を開催した。

4) 中部地区事業推進委員会

技術交流会(1回), 講習会(2回), セミナー・シンポジウム(1回), 見学会(1回)を開催した。

5) 近畿地区事業推進委員会

セミナー・シンポジウム(5回), 見学会(3回)を開催した。

6) 西日本地区事業推進委員会

技術交流会(1回), セミナー・シンポジウム(3回), 見学会(2回)を開催した。

各地区事業活動一覧表

① 技術交流会

名称	発表論文	開催日	会場	参加者数
第19回西日本地区技術交流会 (西日本地区事業推進委員会)	11	9.21	九州大学 筑紫キャンパス	47
第12回中部地区技術交流会 (中部地区事業推進委員会)	4	10.11	中部電力 緑営業所	25

小計 72名

(昨年度参加者数小計: 78名)

②講習会

No.	名称	開催日	会場	受講者数
1	初級冷凍空調講習会(関東) 冷凍コース	10.17 ~18	1日目: 中央区立産業会館 2日目: 前川製作所本社	36
2	初級冷凍空調講習会(関東) 空調コース	10.24 ~25	1日目: 学会大会議室 2日目: 前川製作所本社	16
3	初級冷凍空調講習会(中部) 冷凍コース	7.26	東桜会館	20
4	初級冷凍空調講習会(中部) 空調編コース	7.27	東桜会館	20

小計 92名

(昨年度受講者数小計: 108名)

③セミナー，シンポジウム

No.	名 称	担当 委員会	開催日	会 場	受講者 数
1	給湯設備の最新動向～今後の展望と消費者のライフスタイルに合わせた導入事例～	関東	4.16	連合会館	39
2	最新技術セミナー 平成29年度省エネ大賞，技術の決め手はこれだ！	近畿	4.25	大阪市立大学 文化交流センター	15
3	最新の冷媒問題への対応と展望 2018	関東	6.7	国際ファッションセンタービル	105
4	さろんセミナー『三菱電機住環境システムズ』について	西日本	8.9	三菱電機(株)九州支社	11
5	実用冷凍空調講座 空調編 設計事例で身につける湿り空気線図と空調システム	近畿	9.5 ～6	大阪市立大学 文化交流センター	18
6	実用冷凍空調講座 冷凍編 設計事例と冷凍システムの実務	近畿	9.19 ～20	大阪市立大学 文化交流センター	21
7	ナチュラルチラー講習会	関東	10.4	東京ガス(株)千住研修センター	10
8	冷凍空調入門講習会 (トライアル)	教育 制度	10.22	ダイキン工業(株) フーハ東京	20
9	第11回若手技術者研修会	若手	11.6	東京スカイツリー	18
10	好評再開催 in 名古屋 冷凍関係法規集第58次改訂を読み解く！ 高圧ガス保安法改正の要点はこれだ！	保安	11.7	東桜会館	26
11	AI, IoT を活用した次世代空調冷凍システム	関東	11.15	連合会館	76
12	第15回中国四国地区技術セミナー 「熱機器における環境・エネルギー対応について」	西日本	11.19	岡山大学大学院 自然科学研究科棟	6
13	シンポジウム「冷媒動向の最新情報と課題を探る」	近畿	11.22	大阪市立大学 文化交流センター	67
14	「食品の凍結所要時間の予測」 研修会	食品	12.6	東京海洋大学 品川キャンパス	23
15	グリコ千葉アイスクリーム工場 冷凍設備見学会	食品	12.14	グリコ千葉アイスクリーム工場	19
16	高効率ヒートポンプセミナー 低GWP冷媒の最新技術動向及び 新型ヒートポンプの開発，省エネビル 事例について	中部	2.4	ダイキン工業(株) 名古屋ビル	19
17	サイエンス講座 「冷凍サイクル制御」	事業	2.5	ダイキン工業(株) 東京支社	45
18	最新エネルギーセミナーin 大阪 急速に変わるエネルギー供給と 利用の最新情報！ 「バーチャルパワープラント (VPP) とデマンドレスポンス (DR) の要点と事例」	事業	2.7	大阪市立大学 文化交流センター	37

19	技術セミナー 冷凍関係法規集第58次改訂を読み解く！高圧ガス保安法改正の要点はこれだ！	西日本	2.8	(株)九電工 福岡支店	32
20	最新エネルギーセミナーin東京 急速に変わるエネルギー供給と利用の最新情報！ 「バーチャルパワープラント(VPP)とデマンドレスポンス(DR)の要点と事例」	事業	2.26	機械振興会館	51
21	実用講座 ガスセミナー 最新の高効率ガス空調システム	近畿	3.5	大阪市立大学 文化交流センター	20
22	最新技術セミナー 「ZEB化技術の最新動向と導入事例について」	東北	3.11	東北電力株式会社	28
23	「再生可能エネルギー利用による分散型 地域エネルギー供給」講演会	北海道	3.26	北海道大学	48

小計 754 名

(昨年度開催件数：21，参加者数小計：768名)

④見学会

No.	名称	担当委員会	開催日	場所	参加者数
1	中之島フェスティバルタワー・ウエスト 見学会	近畿	4.19	中之島フェスティバルタワー・ウエスト	21
2	川崎重工業 播磨・明石工場 見学会 (水素関連設備)	近畿	6.8	川崎重工業(株) 播磨工場，明石工場	31
3	情報と制御の生産・開発拠点見学会 ～(株)正興電機製作所 古賀事業所～	西日本	7.10	(株)正興電機製作所 古賀事業所	16
4	愛知医科大学病院 見学会	中部	9.18	愛知医科大学病院	25
5	竹中工務店東関東支店ビル見学会～温室効果ガス削減に向けた既存建物のZEB改修～	関東	10.18	竹中工務店東関東支店	14
6	CO ₂ 冷凍倉庫，即席麺製造工場，LNG 基地・ガスタービン発電設備見学会	北海道	10.25	エビコー(株)，東洋水産(株)，北海道ガス(株)	38
7	冷蔵冷凍ロジスティックス拠点見学会	西日本	11.29	河合製氷冷蔵(株)	33
8	ダイキン工業臨海新工場 見学会	近畿	1.23	ダイキン工業(株) 堺製作所臨海工場	40
9	日本大学工学部70号館施設見学会	東北	1.30	日本大学工学部 70号館	19
10	東京団地冷蔵株式会社最新冷蔵倉庫見学会	関東	3.12	東京団地冷蔵株式会社	21

小計 258 名

(昨年度開催件数：11，参加者数小計：213名)

- (7) 食品冷凍事業委員会
- 1) 食品冷凍講習会を東京と大阪で開催した.
 - 2) 新規の研修会として「食品の凍結所要時間の予測」を開催した.
 - 3) グリコ千葉工場見学会を開催した.
 - 4) 食品冷凍技術に関するニーズ調査を実施した.
- (8) 出版事業委員会
- 1) 刊行図書
 - ① 試験問題と解答例 (平成 29 年度問題編入版)
 - ② 冷凍サイクル制御 平成 30 年 11 月発行
 - 2) 出版作業フォロー
「冷媒の沸騰・蒸発」出版作業の進捗確認をした.
- (9) 冷凍技士運営委員会
- 1) Newsletter No.33(9月) No.34(3月)の発行
 - 2) 冷凍技士研修会の実施

NO	名 称	開催日	会場	参加者数
1	第 45 回冷凍技士研修会 「冷媒の熱力学特性と燃焼特性評価」	7.5	(国研)産業技術総合研究所	13
2	第 46 回冷凍技士研修会 「研究室見学会 (佐々木研究室・片岡研究室)」	9.6	日本大学工学部	13
3	第 47 回冷凍技士研修会 「農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 食品流通システム ユニット・食品化学ハザードユニット 研究紹介」	2.5	(国研) 農業・食品産業 技術総合研究機構食品 研究部門	4

小計 30 名
(昨年度小計：33 名)

3) 技士登録者数

種 別	平成 30 年度新規	平成 31 年 3 月 31 日現在 ()内は平成 30 年 3 月 31 日時点
冷凍空調技士		
第一種	53	1,351 (1,369)
第二種	49	756 (762)
食品冷凍技士	12	240 (246)
合 計	114	2,347 (2,377)

- 4) 技士の社会的地位向上に向けてのアクションプランについて検討した.
- (10) 若手技術者研修会企画委員会
第 11 回若手技術者研修会～東京スカイツリー地区熱供給施設見学&特別講演 (V P P 活用) ～を開催した. 参加者 18 名.
- 1) 熱供給システム紹介と施設見学
 - 2) 講演会「再生可能エネルギー大量導入に向けた VPP 活用と地域熱供給システム」
- (11) 通信教育委員会
初級冷凍空調講座の添削指導の実施 (6～10 月・10～2 月の年 2 回) と, 次年度より新規問題を使用するため問題作成作業を主として行った.
- ・ 6 月コース 期間 (6～10 月) 受講者 81 名 修了者 61 名 (内 優秀者 16 名)
 - ・ 10 月コース 期間 (10～2 月) 受講者 61 名 修了者 52 名 (内 優秀者 7 名)
- (昨年度受講者 6 月コース：42 名, 10 月コース 63 名)

(12) 広報委員会

- 1) 公益社団法人としての学会活動PRの強化を目的とし、一般向けのホームページ上のイベント開催情報について随時更新した。
また、トップページでバナー広告募集を実施し、2社について掲載済である。
- 2) 会員専用ページの随時更新した。
- 3) メールマガジン発行した。

(13) 各種講習会及び検定試験

冷凍空調技士受験準備講習会，資格検定試験（東京・名古屋・大阪・福岡）

1) 第一種冷凍機械講習，第二種冷凍機械講習および検定試験

① 第一種，第二種冷凍機械講習

No.	名称	開催日	会場	受講者数
1	第一種冷凍機械講習(第1回)	4.24～26	東京 連合会館	253
2	第一種冷凍機械講習(第2回)	5.9～11	東京 連合会館	196
3	第二種冷凍機械講習(第1回)	6.13～15	東京 連合会館	193
4	第二種冷凍機械講習(第2回)	2.18～20	東京 連合会館	122

総受講者数 764名（昨年総受講者数 966名）

② 第一種，第二種冷凍機械講習技術検定試験

No.	名称	開催日	会場	受検者数
1	第一種冷凍機械講習技術検定試験	5.27	東京 東京工業大学(大岡山)	393
2	第二種冷凍機械講習技術検定試験	7.1	東京 東京海洋大学(越中島)	169
3	第二種冷凍機械講習技術検定試験	3.3	東京 東京工業大学(大岡山)	113

総受検者数 675名（昨年総受検者数 853名）

2) 冷凍空調技士受験準備講習会および食品冷凍講習会，資格検定試験

① 冷凍空調技士受験準備講習会，食品冷凍講習会

No.	名称	開催日	会場	受講者数
1	冷凍空調技士 受験準備講習会 (東京)	1.28～30	連合会館	51
2	冷凍空調技士 受験準備講習会 (名古屋)	1.30～2.1	東桜会館	13
3	冷凍空調技士 受験準備講習会 (大阪)	1.21～23	マイドームおおさか	24
4	冷凍空調技士 受験準備講習会 (福岡)	1.30～2.1	福岡商工会議所	8
5	食品冷凍講習会(関東)	1.28～29	大田区産業プラザ	38
6	食品冷凍講習会(関西)	1.17～18	エル・大阪本館	33

総受講者数 167名（昨年総受講者数 158名）

③ 資格検定試験

No.	名 称	開催日	場 所	受験者数 () は受験申込者数			
				第一種	第二種	食品	合計
1	冷凍空調技士 食品冷凍技士	2/24	東 京	54 (67)	87 (111)	13 (19)	154 (197)
2			名古屋	7 (15)	15 (19)	0 (1)	22 (35)
3			大 阪	21 (30)	28 (36)	14 (15)	63 (81)
4			福 岡	17 (23)	18 (23)	3 (7)	38 (53)
			合 計	99 (135)	148 (189)	30 (42)	277 (366)

総受験者数 277 名 (昨年総受験者数 304 名)

2. 国際冷凍学会などとの連携・協力による国際交流事業

本事業を実施するために、次の委員会活動等を行った。

(1) 国際委員会

- 1) 中国制冷展 (北京) に出席 (4月9~12日) し、中国、韓国、台湾、米、欧、アジア関連団体との交流を深めた。
- 2) ASHRAE/SHASE/JSRAE 合同会議開催 (5月25日)、活動内容、注目課題などについて意見を交換した。
- 3) SAREK2018 (韓国6月) に参加し交流を深めた。
- 4) ACRA2018 (札幌) に参画 (6月11~13日)、アジア4団体の交流会開催、各団体との個別会議を実施し、今後の交流拡大に向け議論した。
- 5) シテ科学産業博物館 (パリ6月15日) にて仏 AFF と MOU を調印した。
- 6) 年次大会 (日本大学9月5~8日) にて、海外関連5学会長へ招待状送付、Call for paper の送付、International Session の支援を実施した。ASHRAE、SAREK、TSHRAE の代表講演を実施した。
- 7) 台湾 TSHRAE 年次大会 (10月6~7日) に学会 (2名) と学生 (講演2名) が参画した。
- 8) 日冷工主催神戸シンポジウムにて、SAREK との会合を実施した。また独 DKV と MOU を調印した。

(2) 国際委員会・IIR 日本国内分科会

- 1) 6月13~15日の IIR 執行委員会及び科学技術審議会、出版小委員会、運営委員会に出席した。(パリ)
- 2) 11月4~10日のモントリオール議定書第30回締約国会合 (キト) に出席し、日本における取り組みについて報告した。
- 3) IIR との学会間相互会員の申し込みを開始。第2回 HF0 会議 (2021年) の誘致活動を行った。
- 4) 2月6~8日の IIR 科学技術審議会及び出版小委員会、運営委員会 (パリ) に出席した。

(3) 国際委員会・ASHRAE 日本国内分科会

- 1) Brussels で開催された ASHRAE Associate Society Alliance, AASA 会議に参加し、Global Alliance に関する議論を行った。
- 2) 本学会、空気調和・衛生工学会、ASHRAE の3学会会議に参加し、本学会の活動紹介及び今後の活動に関する意見交換を行った。
- 3) ASHRAE Winter Conference で開催された AASA 会議に参加し、連携学会の活動について意見交換を行った。また、他の委員会や講演会、展示会に参加し、情報収集を行った。
- 4) 同 AASA 会議において、JSRAE と ASHRAE との MOU の更新調印式を行った。また、別途両学会の会長会議を開催し、Global Alliance および両学会の今後の連携活動に関する意見交換を行った。
- 5) 本学会が開催する年次大会、GL2020 について、ASHRAE のホームページや AAA 会議で案内した。

(4) 国際委員会・アジア関連学会連携分科会

- 1) ACRA2018 において、以下の意見交換を行った。
 - ・ CAR, SAREK, TSHRAE の代表者との4学会会議を開催し、意見交換を行った。
 - ・ CAR との2学会会議、TSHRAE との2学会会議をそれぞれ開催し、意見交換を行った。
- 2) TSHRAE と調整を行い、本学会年次大会の国際セッションへの参加を推進した。
- 3) 台湾の勤益科技大学で開催されたサマーキャンプに選抜学生と共に参加し、TSHRAE 関係者との交流を推進した。

- (5) 国際委員会・ACRA2018 実行委員会
 実行委員会を開催し、国際会議の企画・運営を行った。
 2018年6月10～13日 ACRA2018 開催（開催地：札幌コンベンションセンター）。
- ・参加者総数 366人（内訳 日本…151人、中国…114人、台湾…57人、韓国…38人、マレーシア…3人、シンガポール…1人、フランス…1人、チェコ…1人）
 - ・講演総数 196件（内訳 日本…67件、中国…67件、台湾…38件、韓国…21件、シンガポール…1件、フランス…1件、チェコ…1件）
- (6) 国際委員会・GL2020 実行委員会
- 1) 実行委員会を開催し、下記について確認および検討を行った。
 - ①GL2018の開催状況、②GL2020開催概要説明、③ISHPC2017を踏まえての検討事項の確認、④ホームページについて、⑤予算について
 - 2) 日冷工主催神戸シンポ2018実行委員会との合同委員会において、現状の進捗状況を報告するとともに、両者の連携メリットについて議論した。

3. 調査・資料収集及び技術開発・研究開発などの調査研究事業

本事業を実施するために、次の委員会活動等を行った。

- (1) 規格制定委員会
- 1) 学会所管の日本工業規格（JIS）の見直し調査を実施し、改正の必要可否を検討。
 - ・JIS B 8623「コンデンシングユニットの試験方法」の改定委員会を組織し改正する。
 - ・JIS B 8607「冷凍用フレア及びろう付け管継ぎ手」の改定委員会を組織し改正する。
 - ・JIS B 8606「冷媒用圧縮機の試験方法」及びJIS B8600「冷媒用圧縮機の定格温度条件」の改定委員会を組織し改正する。
 - 2) 学会規格（JSRAE S）の制定に向けた検討
 - ・関係団体のニーズや最新の技術・製品を反映させた改訂、新規制定について検討した。「デシカントユニットの除湿性能試験法」規格の制定に向けて分科会を立ち上げた。
- (2) 規格制定委員会・ISO TC86 国内分科会
- 1) ISO TC86 関連ミーティング
 - ① ISO TC86/SC1/WG1, SC8/WG5（9月）に参加した。
 - ・SC1/WG1：ISO5149のA2L改定案の継続審議
 - ・SC8/WG5：R1234yfの毒性問題を議論
 - ② ISO TC86/SC1/WG1, SC8/WG5, SC8/WG8（2月）に参加した。
 - ・SC1/WG1：A2L冷媒向けの緩和提案の継続検討
 - ・SC8/WG5, SC8/WG8：日本提案の燃焼速度測定法である定圧法へのコメントの回答に合意
 - 2) 国内分科会の開催
 - ・国際委員会の状況について報告。
 - ・政府補助金獲得の可能性と費用分担について審議。
- (3) 保安委員会
- 定例委員会を開催し、以下の協議を実施した。
- ・高圧ガス保安に関する情報共有を行った。
 - ・事業委員会と協力して高圧ガス保安法改正に関する緊急セミナーを名古屋地区、西日本地区で実施した。
 - ・高圧ガス保安協会会長表彰（保安功労者）に元保安委員会委員長を推薦した（同全国大会で受賞）。
 - ・エアコン施工時の技術資格について、高圧ガス保安協会と検討を進めた。
 - ・冷凍に関する教育制度の再構築について、高圧ガス保安協会と協議を行った。
- (4) 新冷媒評価委員会
- 1) 定例委員会を開催した、以下の協議を行った。
 - ・第1回委員会にて新規提案1件、第2回委員会にて新規提案1件を審議し、不活性に掲名できる条件を満足すると判定した。但し2件目は、ASHRAE34に登録されたことを示す最終資料が公開された後に、学会ホームページで公表した。
 - 2) 臨時委員会を1回開催した。
 - ・高圧ガス保安法容器保安規則の改正に合わせて、改正後のFC容器の基準に適合判定を新冷媒評

価委員会で行うことについて検討した。容器則の改正が明確になった時点で、委員会規則の改正を理事会に提案し、対応することとした。

- (5) 温暖化問題等対策検討委員会
 - ・委員会設置承認後、委員の構成及び選出方法等が理事会で承認され、委員を選出した。第1回委員会において、冷媒の回収と再生を中心に議論した。
- (6) 次世代冷媒に関する調査委員会
 - ・NEDO 調査事業を遂行すべく、研究開発事業者間の情報交換、また有識者を交えた意見交換を実施するため、学会内に調査委員会を設置した。委員会活動の進捗状況の検討、討議を行う目的で3つのWGを設置した。
 - ・調査事業として、冷媒、冷凍空調機器に関連する国内外規制、規格をリストアップし、整理を行った。
- (7) 冷凍空調技術委員会
 - ・年次大会期間中に委員会を開催し、意見交換を行った。
 - ・技術委員会の活動内容から判断して現体制を維持する。技術ロードマップについては、外部資金獲得をも含め検討を進めることとした。

各技術委員会の活動報告は下記のとおりである。

- 1) 食品技術委員会
 - 年次大会においてオーガナイズドセッション「食品および生物に関する低温利用技術」を企画した。
- 2) 冷媒技術委員会
 - ①委員会にて次世代冷媒に関する最新情報を提供し、HFO系冷媒を対象にしたJARefの新刊製作について意見を聞いた。
 - ②JARef改訂および新規刊行に関するWG
 - HFO系純冷媒の複数冷媒について熱力学表の作成が可能であると判明したので、JARef新刊の作成に向けてWGを設置した。
- 3) 圧縮機技術委員会
 - ①書籍「冷媒圧縮機」英語版を海外に向けて、紹介及び拡販を実施した。
 - ②年次大会において、圧縮技術セミナー（技術賞受賞関連発表を含む）とオーガナイズドセッション「圧縮機の最新技術と将来展望」を企画開催した。
- 4) 熱交換器技術委員会
 - ・産学連携の調査研究プロジェクト「環境変化に対応するための先進熱交換技術に関する調査研究」にて、若手研究者2名を関連国際会議（Purdue Conference）に派遣し、学会誌に報告書を掲載した。
 - ・伝熱技術WGにて、専門技術書「冷媒の沸騰・蒸発」の構成内容・執筆者を決定し、執筆作業に入った。
- 5) 次世代冷凍システム技術委員会した。
 - ・年次大会において下記企画を実施
 - OS-8「冷凍システムの環境への貢献」、WS-2「世界につながるヒートポンプ」
 - ・専門書「冷凍サイクル制御」を11月に発行した。
 - ・事業委員会と協力してサイエンス講座「冷凍サイクル制御」開催した。（2月5日、48名出席）
- 6) デシカント・吸着・吸収・化学系技術委員会
 - ・委員会に合わせ、吸収式分科会、デシカント・吸着分科会を合同で実施し、情報収集および報告を実施した。
 - ・学会誌「冷凍」への25回の連載講座を継続中。連載講座終了後、専門技術誌としての発行の検討とセミナーを計画中である。
 - ・年次大会において、オーガナイズドセッション、ワークショップを企画運営した。
- 7) 自然冷媒冷凍空調システム技術委員会
 - ①自然冷媒システム調査研究プロジェクトにおいて施設見学や講演会を開催した。
 - ②年次大会において、ワークショップを企画運営した。
- 8) 着霜・除霜系技術委員会
 - ①年次大会において、オーガナイズドセッション「霜・雪・氷の諸現象と利用技術」を開催し、

3セッションで12講演が発表された。

②着霜除霜研究会との合同委員会および着霜除霜研究会・着雪氷研究会との合同委員会を開催し、それぞれ5件、4件の研究報告を行った。

9) 固液相変化蓄熱技術委員会

①氷スラリーに関する、企業向けの講演会を2回実施した。

②年次大会において、オーガナイズドセッション「固液相変化を伴う熱・物質移動現象」を開催した。

10) 調査研究プロジェクト

①環境変化に対応するための先進熱交換技術に関する調査研究プロジェクト

・参加企業32社、学術研究機関委員16名による調査研究を行った。

・本調査研究では、先進熱交換技術に関して研究者側委員と特別講師による最新研究の動向を提供・情報発信し、さらにそれらに関する討議を行って熱交換技術の方向性などを検討した。またプロジェクトの中間活動報告書を作成し、幹事・委員に配信した。

②自然冷媒システム調査研究プロジェクト

・参加企業9社、学術研究機関委員9名による調査研究を行った。

・本調査研究では、5種類の自然冷媒を検討対象として、学界及び企業にて種々のテーマについての検討評価と課題を討議し、4回の調査研究プロジェクト会合を開催した。

・各会では自然冷媒に関する見学会を開催し、自然冷媒に関する研究開発報告会で意見交換した結果をまとめた「自然冷媒システム調査研究プロジェクト平成29、30年度研究報告書」を作成した。

・講演内容は下記の通り。

①アンモニア吸収式における流下液膜濃度の熱・物質伝達係数の影響と相関式、②圧縮機の技術動向と展望、③水冷媒ターボ冷凍機について、④エジェクターについて、⑤CO₂圧縮機について、自動販売機における自然冷媒の適用、⑥吸収式について、⑦冷媒転換の流れと対応について、⑧二相流膨張機に関して

(8) 学会誌編集委員会

1) 学会誌「冷凍」・2018年度12冊を発行した。

・Vol.93 No.1086~1094, Vol.94 No.1095~1097

発行部数：50,380部、総ページ数：874ページ（本文）

・下記の通り11回の特集を実施した。

①調理冷凍食品の最新技術動向、②省エネを支える熱マネジメント技術の開発と現状、③産地における水産物冷凍・冷却の研究、④ZEBの普及推進に向けた取り組み、⑤ガスハイドレート⑥空調機へのIoT技術の導入、⑦労働者の安全と健康を科学する、⑧冷凍空調分野における補助金制度と導入事例、⑨食品加工における酵素利用の最前線、⑩冷凍空調における熱交換器のスケール・防食、⑪冷凍冷蔵領域における自然冷媒・低GWP化への採用事例

2) 平成30年に発行された冷凍（Vol.93）12冊を収めたCD-ROMを発行した。

4. 資格認定及び表彰による学術評価事業

本事業を実施するために、次の委員会活動等を行った。

(1) 冷凍空調技士考査委員会および試験分科会

平成30年度の冷凍空調技士試験用の問題を作成し、冷凍空調技士試験を実施した。

(2) 食品冷凍技士考査委員会および試験分科会

平成30年度の食品冷凍技士試験用の問題を作成し、食品冷凍技士試験を実施した。

(3) 論文集編集委員会

・2018年度中に4冊を発行した。（Vol.35, No.2~4, Vol.36, No.1）

発行部数：2,000部、総ページ数：395ページ、掲載論文数：50編

・掲載論文数50編の内、特集論文「食品・生体の冷凍および解凍に関わる最新技術」は12編、講演論選集は17編、通常論文は20編、再録論文は1編。

(4) 論文集編集委員会・論文集運営推進検討分科会

・掲載後1年経過した論文Vol.34, No.2-4, Vol.35, No.1をJ-STAGEに公開した。

・J-STAGE 投稿審査システムの“Editorial Manager”の活用を開始した。

(5) 学会賞選考委員会

学術賞，技術賞，研究奨励賞，優秀講演賞，会長奨励賞の審議，決定，理事会へ上程を行った。
各分科会が以下の活動を行った。

1) 学術賞分科会

学会賞選考委員会内規に基づいて，2018 年刊行の日本冷凍空調学会論文集 Vol. 35, No. 1～4 に掲載された論文 52 編を厳正審査し，学術賞候補として 5 件を選定した。

また，応募があった 5 つの業績を厳正審査し，研究奨励賞候補として 1 件を学会賞選考委員会に上程した。

2) 技術賞分科会

学会誌，学会ホームページおよびメールマガジンによる公募をし，応募書類の審査及び実機審査に基づき技術賞候補 2 件を決定し，学会賞選考委員会に上程した。

3) 優秀講演賞分科会

年次大会で講演した対象者 62 名の中から，優秀講演賞授賞者候補者 7 名を決定し，学会賞選考委員会に上程した。

平成 30 年度日本冷凍空調学会賞は以下の通り

《学術賞》 2019年度通常総会にて表彰

No.	論文名	著者	掲載誌
1	SPM による表面温度一定条件下での様々な金属表面への氷の付着力のナノスケール測定	松本浩二・坂本純樹・江原昂平・上田 純・梅原友理	日本冷凍空調学会論文集 Vol. 35, No. 4 (2018), pp. 277-287.
2	低 GWP 冷媒の高温下における酸化分解	伊藤 誠・党 超鋌・飛原英治	日本冷凍空調学会論文集 Vol. 35, No. 3 (2018), pp. 163-171.
3	不均一熱負荷並列ミニチャンネル内沸騰流の熱伝達特性	黒瀬 築・宮田一司・濱本芳徳・森 英夫	日本冷凍空調学会論文集 Vol. 35, No. 2 (2018), pp. 101-108.
4	R 32 の水平扁平多孔管内沸騰熱伝達に及ぼす潤滑油の影響	榎田 晃・菊池省吾・地下大輔・井上順広・小山 繁	日本冷凍空調学会論文集 Vol. 35, No. 2 (2018), pp. 77-84.
5	冷凍米飯の長期保存における氷結晶の計測	都 甲洙・山本怜人・宋 珉 錫・姜 起 文・佐瀬勘紀・裴 英 煥・上野茂昭・荒木徹也	日本冷凍空調学会論文集 Vol. 35, No. 3 (2018), pp. 251-259.

《技術賞》 2019 年度通常総会にて表彰

No.	装置・機器名	会社	開発担当者
1	アウトロータ型ファンモータを搭載した高効率エアコン	ダイキン工業株式会社	藤井浩和・石丸 純・佐藤純一・高山佳典・大辻基史
2	低速給油機構を搭載した高効率冷蔵庫用圧縮機	株式会社日立製作所／日立アプライアンス株式会社	永田修平・香曾我部弘勝／長尾智大・加納奨一

《研究奨励賞》 2019 年度通常総会にて表彰

No.	業績名	受賞者	所属
1	冷凍サイクル油循環抑制技術の研究	森山貴司	三菱電機(株)

《優秀講演賞（2018年度年次大会）》 2019年度年次大会にて表彰

No.	論文名	発表者	所属
1	低温貯蔵中のキュウリ果実における脂肪酸代謝関連遺伝子の発現動態	沖賀春菜	岐阜大学大学院
2	水平管群内沸騰熱伝達に関する研究	善財秀貴	神戸大学大学院
3	X 線ラジオグラフィを用いた除霜時の融解水挙動の評価	塩川貴大	関西大学大学院

4	シェブロン型プレート式熱交換器を流れる超臨界圧流体の冷却熱伝達特性と圧力損失に関する数値シミュレーション	渡辺直人	九州大学大学院
5	デシカント塗布型熱交換器複合型空調システム	東 朋寛	東京大学大学院
6	ルームエアコン室内ファン断続制御の消費電力評価	范 芸青	三菱電機株式会社
7	CFDを用いた衝突噴流型食品用フリーザーの冷却性能評価	益田和徳	株式会社前川製作所

《会長奨励賞》 2019年度年次大会にて表彰

No.	論文名	著者	所属
1	界面活性剤濃度の変化によるガラス表面への氷の付着力のSPMによるナノスケール測定	坂本純樹	中央大学大学院
2	インナーフィン型プレート式熱交換器の性能特性に及ぼすフィン傾斜角の影響	太田 智	日本大学大学院
3	太陽熱で駆動する一重二重効用吸収冷凍機の最適運用に関する研究	アルナス	早稲田大学大学院
4	Heat transfer characteristics of supercritical refrigerants in vertical upward flow under heating condition	何 嘉誠	東京大学大学院

(6) アジア学術賞(AAA)選考委員会

アジア学術賞を審議、決定し、学術・編集担当理事会に上程した。

《アジア学術賞(JSRAE推薦)》 2018年度年次大会にて表彰

No.	業績名	受賞者	所属
1	コンパクト熱交換器内熱流動現象の理解への貢献	浅野 等	神戸大学

《アジア学術賞(SAREK推薦)》

No.	業績名	受賞者	所属
1	Application of embossed plate heat exchanger to absorption Chiller	JAE DONG CHUNG	Sejong University

(7) 著作権委員会

4件の転載許諾申請に対する審議を行った。

(8) 冷凍装置検査員の推薦申請

高圧ガス保安協会へ次の通り申請を行った。

- ・冷凍装置検査員 3名
- 合計 3名

これらの内、第一種冷凍空調技士登録者で申請した者は3名である。

(9) 冷凍機器溶接士の申請

高圧ガス保安協会へ31名の申請を行った。

5. 学会運営並びに理事会直轄委員会

本事業を実施するために、次の委員会活動等を行った。

(1) 総務・会計担当理事会

- 1) 総会、理事会の運営を行った。
- 2) 月次の財務状況の分析と報告を行った。
- 3) 主な審議、検討事項は下記のとおり。
 - ・NEDO調査事業「次世代冷媒に関する調査委員会」設置について提案した。
 - ・学会規格「デシカントユニットの除湿性能試験法」発行について検討した。
 - ・学会功労者表彰対象者を推薦した。
 - ・海外の団体からの提案である「コールドチェーン国際会議」およびIIR相互会員サービスについて検討した。

- ・事務局就業及びフレックスタイム制規則について提案した。
- ・来年度の活動計画、予算案と今年度の活動報告、決算を取りまとめた。

(2) 戦略会議

学会活性化に向けた方策について以下の検討をした。

- 1) 平成31年度政策委員会活動計画案の作成。
- 2) 学会収支向上策、事務局パフォーマンス向上策についての施策検討。
- 3) 将来の学会活性化についての施策検討。

(3) 政策委員会

戦略会議からの提言を受けて、具体的な施策について討議実施。特に学会収支改善と学会活性化に向けて、以下のアイテムについて活動計画を確認した。

- ①法人会員増加策と中堅メンバー増員策、②国際会議誘致促進、③海外及び中小企業向け事業拡大、④技士及び1冷/2冷受験者減少対策、⑤セミナー集客向上、⑥学会への質問や相談対応強化として参与などのシニア層活用、⑦事務局業務のパフォーマンス向上、⑧100周年記念事業取り掛かり。

(4) 政策委員会・教育制度再構築分科会

1) カリキュラム WG

施工会社新入社員向けプログラムを開発し、トライアルで入門講習会を実施した。また、「入門」に続く教育サービスの企画をはじめた。

- ・冷凍空調入門テキストの作成と研修プログラム開発
- ・トライアル講習会（冷凍空調入門）実施
- ・冷凍空調基礎テキストの企画

2) 制度・運用及び広報 合同 WG

セミナー申込みおよびCPD登録Webシステムを開発した。

(5) 代表会員選挙管理委員会

- 1) 7月理事会にて、「代表会員選挙管理委員会」が発足された。
- 2) 次期代表会員選出にあたって、9月から立候補受付、1月に選挙開始（関東地区）、2月に【代表会員が決定した。
- 3) 3月に代表会員による会長候補者選挙を実施し、候補者が決定した。

(6) その他

- 1) 2018年度中に依頼を受けた主な協賛、共催、後援名義使用について

*日付順

NO.	協賛 共催	依頼団体	行事名	開催日
1	協賛	低温生物工学会	第63回低温生物工学会大会	30.6.9～10
2	協賛	(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター	ヒートポンプ・蓄熱月間	30.7.1～31
3	協賛	(一社)日本機械学会	第28回環境工学総合シンポジウム2018	30.7.11～12
4	協賛	(公社)空気調和・衛生工学会	平成30年度技術講演会「健康で生産性の高いオフィス/環境設計-働き方改革の実現に向けて」	30.7.13
5	協賛	(一社)日本機械学会	機械の日・機械週間	30.8.1～7
6	協賛	(一社)大日本水産会	第20回「ジャパン・インターナショナルフットショー」	30.8.22～24
7	協賛	日本熱測定学会	第81回熱測定講習会	30.8.23～24
8	協賛	日本ヒートアイランド学会	日本ヒートアイランド学会第13回全国大会	30.8.24～26
9	協賛	(一社)日本機械学会	2018年度計算力学技術者(CAE技術者)資格認定事業	30.9.8 ～12.15
10	協賛	(一社)日本機械学会関西支部	「第358回講習会」	30.9.10.30～31
11	協賛	(一社)日本機械学会	No.18-105『伝熱工学資料(改訂第5版)』の内容を教材にした熱設計の基礎と応用」	30.9.27～28
12	後援	第8回全国地中熱利用促進地域交流2018佐賀実行委員会	第8回全国地中熱利用促進地域交流	30.10.11～12

13	協賛 (一社) 日本機械学会	熱工学コンファレンス 2018	30. 10. 20～21
14	後援 (一社) 日本建築学会	第 14 回建築設備シンポジウム	30. 10. 28
15	協賛 日本熱測定学会	第 54 回熱測定討論会	30. 10. 31～11. 2
16	協賛 日本銅学会	日本銅学会第 58 回講演大会	30. 11. 2～4
17	協賛 (一社) 日本エレクトロヒートセンター	第 13 回エレクトロヒートシンポジウム	30. 11. 7
18	協賛 (公社) 日本伝熱学会	講習会「計測技術」	30. 11. 9
19	協賛 日本熱物性学会	第 39 回日本熱物性シンポジウム	29. 11. 13～15
20	協賛 (公社) 腐食防食協会	第 44 回腐食防食入門講習会	30. 11. 15～16
21	協賛 (公社) 低温工学・超電導学会	第 97 回 2018 年度秋季低温工学・超電導学会	30. 11. 19～21
22	協賛 (一社) 日本能率協会	アグロ・イノベーション 2018	30. 11. 20～22
23	協賛 (一社) 日本機械学会関西支部	「ステップアップセミナー2018」	30. 11. 22
24	協賛 日本高圧力学会	第 59 回高圧討論会	30. 11. 26～28
25	協賛 (一社) 日本機械学会	第 21 回スターリングサイクルシンポジウム	30. 12. 1
26	協賛 (一社) 食感性コミュニケーションズ	農林水産技術会議・ワークショップ 「知の活用」を創る研究-ビジネス・コンソーシアムの展望	30. 12. 1
27	協賛 (公社) 日本伝熱学会	関東支部セミナー「分野外の技術者にもわかる伝熱工学-最新の数値解析と実験計測の研究事例-」	31. 1. 23
28	協賛 (一財) 省エネルギーセンター	ENEX2019「第 43 回地球環境とエネルギーの調和展」	31. 1. 30～2. 1
29	協賛 (公社) 空気調和・衛生工学会	平成 30 年度セミナー (東京)「環境に寄り添う建築」	31. 2. 13
30	後援 シーフードショー事務局	「第 16 回シーフードショー大阪」	31. 2. 20～21
31	協賛 (一社) 日本機械学会	イブニングセミナー「未来に明かりを灯すスターリングエンジン」	31. 2. 22
32	協賛 日本熱測定学会	熱測定スプリングスクール 2019(第 82 回熱測定講習会)	31. 3. 7～8
33	協賛 (公社) 日本材料学会	「腐食防食部門委員会」	31. 3. 19
34	協賛 (一社) 電気設備学会 (一社) 日本設備設計事務所協会 会連合会	建築設備士第一次・第二次試験受験準備講習会	31. 4 月～7 月
35	協賛 (公社) 空気調和・衛生工学会	平成 31 年度初級技術者のための研修会 (東京)	31. 4. 15～19
36	協賛 (公社) 日本空気清浄協会	第 36 回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	31. 4. 23～24
37	協賛 (公社) 空気調和・衛生工学会	平成 31 年度中堅技術者のための研修会 (東京)	31. 5. 15～ 32. 2. 26
38	協賛 (株)食品化学新聞社	ifiaJAPAN2019 および HFE JAPAN2019	31. 5. 22～24
39	協賛 (公社) 低温工学・超電導学会	第 98 回 2019 年度春季低温工学・超電導学会	31. 5. 28～30
40	共催 (公社) 日本伝熱学会	第 56 回日本伝熱シンポジウム	31. 5. 29～31
41	協賛 低温生物工学会	第 64 回低温生物工学会大会	31. 6. 1～2
42	協賛 (一社) 日本機械学会	「第 24 回動力・エネルギー技術シンポジウム」	31. 6. 20～21
43	協賛 (公社) 空気調和・衛生工学会	平成 31 年度初級技術者のためのステップアップ研修会 (東京)	31. 6. 20～21

44	協賛 (一社) 日本機械学会	第 29 回環境工学総合シンポジウム 2019	31. 6. 25～28
45	共催 日本学術会議	安全工学シンポジウム 2019	31. 7. 3～5
46	協賛 再生可能エネルギー協議会	第 14 回再生可能エネルギー世界展示会	31. 7. 10～12
47	協賛 農業食料工学会	2019 農業食料工学会シンポジウム	31. 7. 12
48	協賛 日本混相流学会	混相流シンポジウム 2019	31. 8. 5～7
49	協賛 (一社) 日本エネルギー学会	第 28 回日本エネルギー学会大会	31. 8. 7～8
50	共催 IMPRES2019 組織委員会 (公社) 化学工学会	IMPRES2019	31. 10. 20～23

2) 2018 年度中に開催した、共催、後援、協賛をいただいた行事

NO.	行事名	依頼団体	開催日
1	第 52 回空気調和・冷凍連合講演会	共催：(公社)空気調和・衛生工学会，(一社)日本機械学会 協賛：(一社)エネルギー・資源学会，(公社)化学工学会，(一社)可視化情報学会，(公社)計測自動制御学会，高圧ガス保安協会，(公社)低温工学・超電導学会，(一社)電気設備学会，(公社)土木学会，(一社)日本エネルギー学会，(一社)日本音響学会，(公社)日本空気清浄協会，(一社)日本原子力学会，(一社)日本建築学会，日本混相流学会，(一社)日本太陽エネルギー学会，(一社)日本鉄鋼協会，(公社)日本伝熱学会，日本熱物性学会，(一社)日本燃焼学会，日本ヒートアイランド学会，(一社)日本ボイラ協会，(一社)日本流体力学会	18. 4. 18-20
2	2018 年度日本冷凍空調学会年次大会	共催：日本大学工学部 協賛：(一社)エネルギー・資源学会，(公社)化学工学会，(一社)近畿冷凍空調工業会，(公社)空気調和・衛生工学会，(一社)建築設備技術者協会，高圧ガス保安協会，(一財)省エネルギーセンター，中部冷凍空調協会，(公社)低温工学・超電導学会，低温生物工学会，(一社)西日本冷凍空調工業会，(一社)日本エネルギー学会，(一社)日本機械学会，(公社)日本技術士会，(一社)日本建築学会，日本混相流学会，(公社)日本食品科学工学会，(一社)日本食品工学会，(一社)日本食品保蔵科学会，(公社)日本水産学会，日本潜熱工学研究会，(一社)日本太陽エネルギー学会，(公社)日本畜産学会，(一社)日本調理科学会，(公社)日本伝熱学会，(公社)日本伝熱学会東北支部，日本熱物性学会，(公社)日本農芸化学会，日本ヒートアイランド学会，(一社)日本冷凍空調工業会，(一社)日本冷凍空調設備工業連合会，(一社)日本冷凍食品協会，(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター，アメリカ暖房冷凍空調学会，大韓設備工学会，中国制冷学会，台湾冷凍空調学会	18. 9. 4 -7
3	最新技術セミナー 平成 29 年度省エネ大賞，技術の決め手はこれだ！	協賛：(一財) 省エネルギーセンター	18. 4. 25
4	最新の冷媒問題への対応と展望 2018	協 賛： (公社)空気調和・衛生工学会， (一社)日本冷凍空調工業会，	18. 6. 7

		(一社)日本冷凍空調設備工業連合会, (一財)日本冷媒・環境保全機構	
5	ナチュラルチラー講習会	共催：東京ガス(株)	18.10.4
6	好評再開催 in 名古屋 冷凍関係法規集第58次改訂を読み 解く！ 高圧ガス保安法改正の要点 はこれだ！	協賛：(一社)日本冷凍空調工業会, 日本フルオロ カーボン協会, 高圧ガス保安協会	18.11.7
7	食品冷凍講習会	共催：冷凍食品技術研究会(関東, 西日本) 協賛：(一社)日本冷凍食品協会, (一社)日本食品 機械工業会	19.1.17-18 19.1.28-29
8	冷凍空調技士受験準備講習会	協賛 (一社) 日本冷凍空調設備工業連合会	19.1.21-23 19.1.28-30 19.1.30-2.1
9	技術セミナー (西日本地区) 冷凍関係法規集第58次改訂を読み 解く！ 高圧ガス保安法改正の要点 はこれだ！	協賛：(一社)日本冷凍空調工業会, 日本フルオロ カーボン協会, 高圧ガス保安協会	19.2.8
10	最新エネルギーセミナーin 大阪 急速に変わるエネルギー供給と利 用の最新情報！ 「バーチャルパワープラント (VPP)とデマンドレスポンス(DR) の要点と事例」	協賛：(一社)日本機械学会 関西支部, (一社)日 本冷凍空調工業会, (一財)ヒートポンプ・蓄熱セ ンター	19.2.7
11	最新エネルギーセミナーin 東京 急速に変わるエネルギー供給と利 用の最新情報！ 「バーチャルパワープラント (VPP)とデマンドレスポンス(DR) の要点と事例」	協賛：(一社)日本機械学会 関西支部, (一社)日 本冷凍空調工業会, (一財)ヒートポンプ・蓄熱セ ンター	19.2.26
12	東北地区技術セミナー ZEB 化技術の最新動向と導入事例 について	後援：(公社)空気調和・衛生工学会	19.3.11